令和6年産雑豆の収穫量と令和7年産雑豆の作付指標面積について

（公財）日本豆類協会

1．令和６年産雑豆の収穫量

農林水産省大臣官房統計部は、令和7年3月7日付けで「令和6年産小豆、いんげん及びらっかせい（乾燥子実）の収穫量」を公表した。ここではその調査結果から雑豆に関する部分を抜粋して、紹介する。

（1）小豆（乾燥子実）

①作付面積

全国の作付面積は2万4,000haで、前年産に比べ800ha（3％）減少した。

②10a当たり収量

全国の10ａ当たり収量は195kgで、前年産を56％上回った。

これは、主産地である北海道において、登熟期から収穫期にかけての降雨により作柄が悪かった前年産を上回ったためである。

なお、10ａ当たり平均収量対比は101％となった。

③収穫量

全国の収穫量は4万6,700tで、前年産に比べ1万5,800t（51％）増加した。

なお、都道府県別の収穫量割合は、北海道が全国の97％を占めている。

（2）いんげん（乾燥子実）

①作付面積

全国の作付面積は5,650haで、前年産に比べ220ha（4％）減少した。

②10a当たり収量

全国の10a当たり収量は100kgで、前年産を14％上回った。

これは、主産地である北海道において、作柄が悪かった前年産を上回ったものの、6月から7月にかけて干ばつ・高温、収穫期前の降雨等の影響により、

品質が低下したためである。

なお、10a当たり平均収量対比は76％となった。

③収穫量

全国の収穫量は5,650tで、前年産に比べ470t（9％）増加した。

なお、都道府県別の収穫量割合は、北海道が全国の95％を占めている。

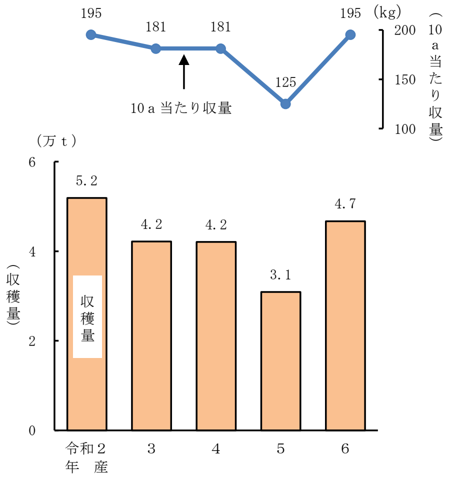

図1　小豆の10a当たり収量及び収穫量の推移

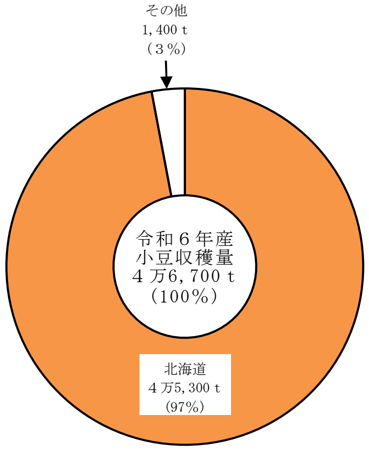

図2　令和6年産小豆の都道府県別収穫量及び割合

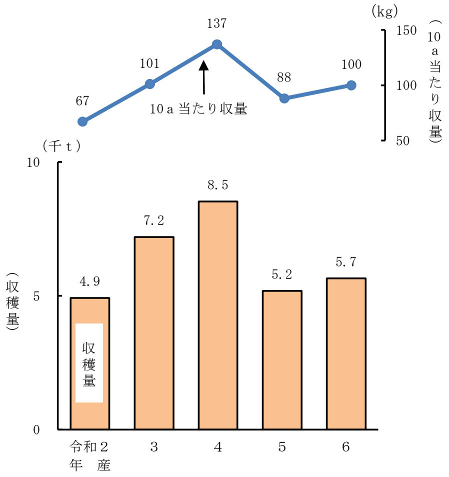

図3　いんげんの10a当たり収量及び収穫量の推移

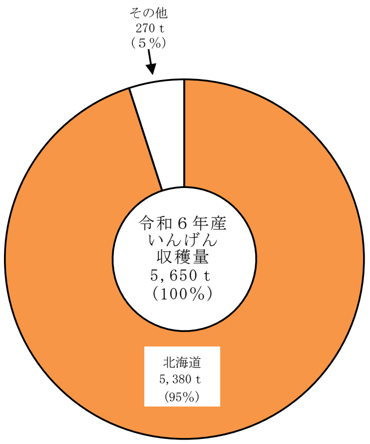

図4　令和6年産いんげんの都道府県別収穫量及び割合

表1　令和6年産小豆（乾燥子実）の作付面積、10a当たり収量及び収穫量

全国農業地域・都道府県	作付面積	10a当たり収量	収穫量	前年産との比較					（参考）	
				作付面積		10a当たり収量	収穫量		10a当たり平均収量対比	10a当たり平均収量
				対差	対比	対比	対差	対比		
	ha	kg	t	ha	%	%	t	%	%	kg
全国	24,000	195	46,700	△ 800	97	156	15,800	151	101	193
北海道	20,800	218	45,300	△ 100	100	157	16,200	156	99	220
石川	132	40	53	nc	nc	nc	nc	nc	nc	…
滋賀	108	23	25	△ 33	77	29	△ 88	22	28	83
京都	382	21	80	△ 33	92	54	△ 82	49	38	55
兵庫	506	25	127	nc	nc	nc	nc	nc	37	67
岡山	180	21	38	nc	nc	nc	nc	nc	nc	…

表2　令和6年産いんげん（乾燥子実）の作付面積、
10a当たり収量及び収穫量（北海道：種類別）

区分	作付面積	10a当たり収量	収穫量	前年産との比較					（参考）	
				作付面積		10a当たり収量	収穫量		10a当たり平均収量対比	10a当たり平均収量
				対差	対比	対比	対差	対比		
	ha	kg	t	ha	%	%	t	%	%	kg
北海道	5,270	102	5,380	△180	97	113	470	110	76	134
うち金時	3,750	93	3,490	△180	95	111	190	106	79	117
手亡	1,300	122	1,590	30	102	111	190	114	65	189

注：「金時」、「手亡」とはいんげんの種類を示す。なお、「金時」には「きたロッソ」を含んでいない。

2. 令和７年産雑豆の作付指標面積（北海道）

（1）小豆

現在の小豆の需要を維持・拡大していくためには、北海道産小豆の作付面積を確保し、実需に対して供給不安を与えないことが最も重要である。

北海道産小豆の安定供給に向けた作付面積を確保する観点から、JA北海道中央会等により、昨年に引き続き令和7年産の作付指標面積は22,100haと定められた。

（2）いんげん等（菜豆類）

菜豆類は、和菓子や煮豆など、日本の食文化を支える重要な品目であり、その供給は北海道が支えている。その一方で、菜豆類の作付は減少傾向に歯

止めがかかっておらず、このまま作付の減少が続くと、北海道産が国内供給のほとんどを占める豆類の供給基盤が損なわれる懸念がある。

このため、作付拡大に向けたメッセージとして、北海道産いんげん等（金時、手亡、えん豆等）の令和7年産の作付指標面積は、令和6年産の実績面積を上回る6,690haと設定された。

表4　令和7年産雑豆の作付指標面積（北海道）

単位：ha

区分		6年産 実績面積	7年産 作付指標	備考
雑豆	小豆	21,086	22,100	
	菜豆等	5,383	6,690	えん豆等を含む

＊ 6年産実績面積は、統計情報換算値